

抗 Nup153 抗体, ラット モノクローナル (R4C8)

商品コード	70-315
容量	200 µg
保存	-20℃
濃度	1 mg/ml
バッファー	PBS- with 50% glycerol
純度	ハイブリドーマの培養上清から proteinA で精製した
抗原	リコンビナント GST-融合ラット Nup153 (610-1191aa)
アイソタイプ	ラット IgG2a κ
反応性	ヒト、マウス、ラット、モンキー。その他の種はテストしていない。
特記事項	エピトープ: 610-1191 aa (Zn finger および FG リピードドメイン)
アプリケーション	1. ウェスタンブロッティング(Hela 細胞抽出液において 160 kDa の単一バンドとして検出される) 2. 免疫細胞化学 3. ELISA 他の用途は試していない。
背景	核膜孔複合体(NPC : nuclear pore complex)は核膜に隔てられた核質と細胞質との間の物質輸送を司る巨大分子複合体であり、ここを通過して高分子の核-細胞質間輸送が行われている。Nup (Nucleoporin) 153 は大きな O-linked glycoprotein で NPC の核側周辺構造である“核バスケット”の構成タンパク質である。 Nup153 は RNA およびタンパク質の核外移行に重要な役割を果たしていると考えられる。
Data Link	UniProtKB P49790 (ヒト)
※本製品は研究用です。診断および軍事目的に使用することはできません。	

画像: 70-315 抗 Nup153 抗体、ラットモノクローナル (R4C8)

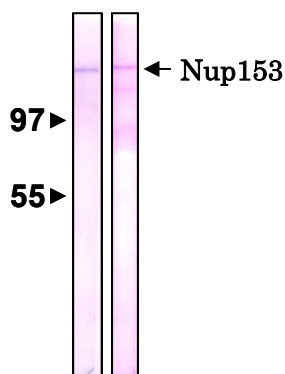


図 1 R4C8 抗体を用いたウエスタンブロッティングによる Nup153 の検出

サンプルは HeLa 細胞 (左図) と NIH3T3 細胞 (右

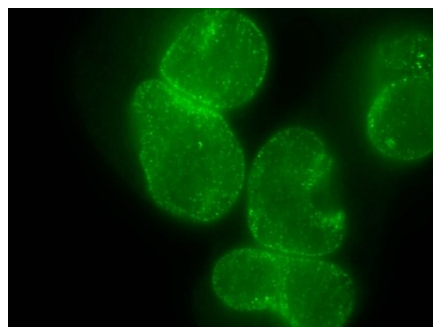


図 2 R4C8 抗体による HeLa 細胞の免疫蛍光染色

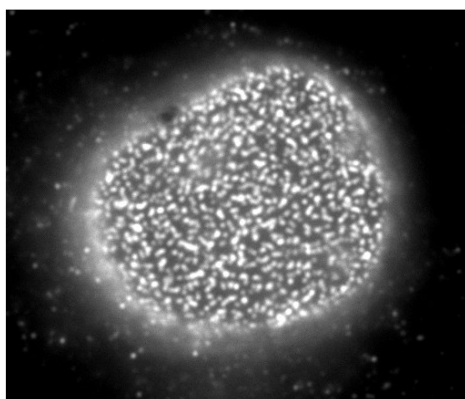


図 3 R4C8 抗体によるラットニューロンの免疫蛍光染色

ドットは Nup153

文献:

1. Ullman KS *et al* "The nucleoporin Nup153 plays a critical role in multiple types of nuclear export." *Molecular Biology of the Cell* **10**: 649-664 (1999) PMID: [10069809](#)
2. Lim RY *et al* "Nanomechanical basis of selective gating by the nuclear pore complex." *Science* **318**: 640-643 (2007) PMID: [17916694](#)